

鳥取県原子力安全顧問会議 質問項目一覧

No.	顧問会議	審査項目	質問者	顧問・事務局からの質問	顧問会議における中国電力回答	中国電力回答
1	R8.2.20 (第3回)	火山対策	香川顧問	降下火砕物が斜面を流れ下った場合に、厚みを増したり、構造物に対して動的な過重がかかることを検討しているか。	敷地全体に層厚56センチの降下火砕物が一様に積もった状態の斜面の評価をしているかという点については別途回答させていただきたい。	
2	R8.2.20 (第3回)	火山対策	香川顧問	非常用ディーゼル発電機のバグフィルタを通り抜けて侵入する降下火砕物の具体的な量を定量的に評価し、問題ないものと確認しているか。	バグフィルタの性能については2マイクロメートルに対し80%以上捕集という製品仕様になっており、20%程度侵入することになるが、かなり細かい粒径のため降下火砕物が侵入しても破碎しやすく、またシリンダ自体が摩耗耐性のある材料を使っていることから、影響がないと評価している。停止後に再結晶化する可能性もあるが、内部の点検等を実施することで対応する。	今回回答
3	R8.2.20 (第3回)	内部溢水	香川顧問	燃料プールのスロッシング周期は何秒か。また南海トラフ地震に伴う長周期地震動についても検討すべきではないか。	長周期地震動に対する評価については、社内に持ち帰って検討したい。	
4	R8.3.30 (第4回)	耐津波設計方針 外部事象 静的機器単一故障	藤川顧問	機器の故障と自然現象が重畳することは想定しているか。また、福島第一原発事故のような過酷な事象が仮に起こったとして、より悪い事態に進展しないかどうか評価しているか、作業員や住民に致死的な被害が出ないようにどのような対策をしているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・単一故障を最悪の事態と想定するよう、(新規基準で) 要求されているもので、配管であれば全周破断を想定してメンテナンスを実施している。 ・耐津波設計方針については、防波壁を超えた超過津波に対する評価も実施している。 	今回回答